

# 公益社団法人京都染織文化協会

## 令和7年度事業計画（案）

### <基本方針>

古くは平安時代から発展してきた日本の染織文化とその技術は、ライフスタイルの変化に伴う伝統文化の継承困難によりその存続が危ぶまれている。当協会では、染織に関わる所蔵資料やネットワークを通じて、あらゆる方法により一般社会に広く啓発することで染織文化・染織技術への理解と関心を深め、次代に継承していく。

## 1. 公益事業

### 「染織文化資源の保全と啓発事業」

#### ■「染織祭」の詳細調査並びに公開（継続事業）

昭和6～26年に染織業の発展を祈念し盛大に執り行われた「染織祭」について、その軌跡や社会的背景、祭りの効果や影響などについて調査を行っているが、時代の経過とともに年々情報が少なくなっている。近年は国立国会図書館デジタルコレクションを利用した資料・文献調査を行っており、収集した情報から更に詳しい調査が必要と判断した場合は、北野裕子氏（龍谷大学 非常勤講師）に依頼して追跡調査を行う。調査成果は当協会ウェブサイトやSNS、多言語インターネット百科事典『Wikipedia』で情報公開すると共に、北野氏による学術研究機関への論文投稿などを通して、染織祭並びに染織大国・京都の認知に繋げていく。

#### <今年度調査>

##### 史料からみる調査

- ・国立国会図書館デジタルコレクション、京都府立歴彩館などでの文献調査
- ・関係先の資料調査

##### 収蔵品からみる調査

- ・衣装並びに道具類(装飾品や軸等)に関する調査

#### ■染織祭関係史料の公開（継続事業）

保管する染織祭関係史料データをウェブサイト上で公開する。

#### <今年度事業>

- ・庶務1件（昭和17年 染織講社）
- ・庶務1件綴（昭和18年 染織講社）

#### ■染織技術アーカイブ作成に伴う資料調査（継続事業）

全国染織産地合同制作布地で使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容をウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏め、順次公開する。  
＜今年度対象資料＞ ※染織祭衣装は平成 29 年度をもって全て公開済。  
「全国染織産地合同制作布地」約 10 点

### ■染織資料並びに画像貸付協力（継続事業）

美術館、出版社等の要請に応じて衣装現物や画像の貸付協力を行う。

#### 【染織祭衣装貸付】

- ・公益性のある美術館、博物館等を対象に貸付。
- ・染織祭衣装については返却後メンテナンス作業が伴うため、貸付期間に関係なく、1 領につき 1 万円のメンテナンス料を徴収する。

#### 【染織祭衣装画像貸付】

- ・当協会の活動目的に合った内容の出版物や番組等を対象に、無償で貸付ける。

### ■衣装台帳のデータベース化（継続事業）

令和 5 年度よりデジタル台帳並びに検索フォームの運用を開始し、143 領分の衣装・装飾品・道具類の情報を管理しているが、今年度は新規内容を適宜更新していく。

＜今年度作業＞

傷み度の進捗、レプリカ制作情報の更新

### ■染織祭衣装の補修・修繕並びにレプリカ制作（継続事業における新規取り組み）

#### ◎補修・修繕

職人減少などの影響により、装束店の作業の遅れが近年顕著になっていることを受け、衣装の補修・修繕に関しては令和 6 年度より協会職員が下記の通り対応している。

#### 衣装の傷み 5 段階評価

- 1・・・新調、又は全くキズ、傷み、汚れが見当たらない状態
- 2・・・単個所に軽い傷み、汚れが有り、修理可能な状態
- 3・・・複数個所に傷み、汚れが有るが、修理可能な状態
- 4・・・複数個所に激しい傷み、汚れが有るが、修理可能な状態
- 5・・・広域に著しい傷みが有り、修理不可能な状態

（補修・修繕に伴う対応）

該当衣装	対 応
評価 2 ～ 3	協会職員による補修・修繕

	(但し、傷みの範囲拡大を防ぐ目的で行う応急処置)
評価 4	補修・修繕は行わず、保全する (技術的価値の高い衣装は、評価 5 と同様レプリカ制作を検討)

(今年度対象衣装)

奈良時代 唐衣	……6、9、19 号	
表着	……2、4、5、11、12、16、18、19 号	
裳	……2、7、9、10、13 号	合計 16 点

◎レプリカ制作

制作から 90 年以上経つ染織祭衣装 143 領は、殆ど全ての衣装に著しい経年劣化が見られるが、その中でも「高度な技術が使われており、特に劣化が著しいもの」または「技術の衰退が著しく、近い将来復元制作が出来ない技術が使われているもの」に限定し、レプリカの制作に着手する。制作工程はすべて記録を行い、その内容を『インターネット染織講座』にて公開する。

(今年度対象衣装) ※後記画像参照

1. 室町時代 10 号「白羽二重地紅葉水玉文様小袖」  
(令和 7 年度(独)日本芸術文化振興基金助成金申請中)
2. 桃山時代 1 号「濃紫練緯地葡萄色紙文様摺箔下着」  
(令和 7 年度(一財)京都染織会館助成金申請予定)

(協力先)

1. 京鹿の子絞振興協同組合／京都府織物・機械金属振興センター
2. 京鹿の子絞振興協同組合／京都府織物・機械金属振興センター

(助成金不認可等の場合の対策)

助成金不認可……今年度の制作を断念し、次年度の対象衣装とする。

助成金満額不認可……制作年数を増やし、今年度は認可金額範囲内で制作する。

■染織祭衣装に関する展覧会協力 (継続事業における新規取り組み)

◎丹後織物工業組合主催『第 76 回丹後織物求評会』への出品協力

会 期	令和 7 年 10 月 予定
場 所	丹後織物工業組合(京丹后市大宮町)
出 品	江戸時代初期 6 号「淡浅葱縮緬地柳桜草紙短冊文様振袖」 新旧衣装

◎京鹿の子絞振興協同組合主催『京鹿の子絞工芸展』への出品協力

会 期	令和 7 年 10 月 予定
場 所	京都市京セラ美術館(左京区岡崎成勝寺町)

出 品 未 定

### ■染織技術復興に向けての取組みの検討

全国には過去制作され現在では廃れて継承が途絶えた染織技術が数多くあり、近年その技術を復興させようという動きが各地で起こりつつある。当協会において技術面等からの復興支援を行い、染織技術の継承と豊かな染織文化の発展に寄与していく。

## 「染織技術等継承事業」

### ■染織技術等に関するセミナーの開催（大学生・専門学生～一般）（継続事業）

一般市民に染織技術等を啓発するため、新聞広告やウェブサイト、フェイスブックによる告知にて、年2回セミナーを開催する。

- ・「第1回染織文化セミナー」（11月頃予定）
- ・「第2回染織文化セミナー」（翌年3月頃予定）

### ■web上での公開講座の開催（一般）（継続事業）

不特定多数の人々に啓発するため、ウェブサイト上でミニ講座の解説及び動画配信を行う。

（ミニ講座）「きものの歴史」シリーズ／「衣装レプリカ制作工程」シリーズ

（方 法）1回の講座は10分迄とし、オンライン動画共有サービス『YouTube』に動画をアップロードしてリンクを貼り、閲覧を促す。

### ■染織技術啓発のための小冊子の配布（幼児～小学生）（継続事業）

きものや染織技術について簡単に解説した小冊子を、七五三詣りなどの着用機会にあわせて配布する。

＜今年度の取り組み＞

- ・高島屋6店舗（日本橋・新宿・横浜・名古屋・大阪・京都）の呉服売り場へ配布。
- ・京都織物卸商業組合主催「七五三詣り」にて配布。

## 「染織技術等継承に関わる助成事業」

### ■公益事業への助成（継続事業）

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、活発に取り組むを行う団体の営利目的ではない事業で、次に該当する事業に助成を行う。

- ①染織技術の研鑽・向上のための事業
- ① 染織技術に関する展示公開等による一般社会への啓発事業

② その他染織技術の創造に寄与するために必要な事業

## 2. 会員事業

### 「知識啓発事業」

#### ■セミナーの開催（継続事業）

会員にとって有益となるセミナーの企画開催や、他団体が開催するセミナーなど有益な情報を発信する。

#### ■主要展覧会への招待（継続事業）

会員の知識向上を目的に、京都市内並びに近郊で行われる主要な展覧会の入場券を年2回会員に送付し、観覧を促す。

### 「染織業界発展事業」

#### ■京都ブレス事業（継続事業）

伝統的な染織技術と先端技術を融合させた新しい素材の開発を行い、各社にその情報をフィードバックする目的で取り組んでいる。今年度はキュプラにシルクをカバーリングした開発糸を使用して製織とオパール加工に着手し、着物における新しい基布の提案を行う。

#### ■会員のための助成事業（継続事業）

歴史ある染織技術を継承し、発展することを目的として当協会会員の次に該当する事業に対し助成を行う。

- ① 染織技術を使った商品を開発するための事業
- ② 染織技術を使って開発された商品を発表するための事業
- ③ 染織技術を使って開発された商品の販路を拡大するための事業
- ④ 染織文化・染織技術を啓発するための事業
- ⑤ その他染織技術の創造に寄与するために必要な事業

<今年度申請事業>

- ・ ㈱岩田 「西陣帯地原材料準備・企画工程活性化及び希少伝統技術継承事業」
- ・ ㈱伊と幸 「絹織物の現在と未来を「万博 2025 関西パビリオン」で世界へ発信」

#### ■染織技術の復興に関する情報提供並びに市場提案

公益事業で行われる染織技術復興事業の成果に基づき、産地の掘り起こし並びに商品開発の一助となるよう会員に情報提供を行う。

令和7年度 染織祭衣装レプリカ制作予定衣装

室町時代 10号「白羽二重地紅葉水玉文様小袖」(生地：湿緯(羽二重) 技術：絞り染、ぼかし染)



桃山時代 1号「濃紫練緯地葡萄色紙文様摺箔下着」(生地：練緯 技術：摺箔)

